



## 電子印鑑ソリューションDSSで、大量のPCR検査報告書も 電子署名をいれ真正性を担保



設立 2001年4月  
資本金 1億円  
URL <https://www.allm.net/>

株式会社アルムは、ICTの力で医療の格差・ミスマッチをなくし、全ての人に公平な医療福祉の実現を目指しています。高齢化社会で地域包括ケアシステムの構築が求められるなか、医師や薬剤師、介護士など多職種の方が地域で一体となって患者の情報共有できる多職種連携ソリューション「Team」をはじめ、提携医療機関より健康診断やPCR検査結果、透析実施履歴などを受け取れる患者向けの救命・健康サポートアプリ「MySOS」や医療関係者間コミュニケーションアプリ「Join」など、デジタル医療プラットフォームづくりを主力としています。また日本発の医療ICT企業として、グローバル展開にも積極的に取り組み、累計28カ国へソリューション提供を行っています。

### ー サービス導入までの背景をお聞かせください。

**ご担当者様** アルムは、医療法人社団 天太会の運営するPCR検査に特化したクリニック「チーム メディカルクリニック」のICT化への取り組みをサポートしています。本来は、PCR検査を受けたら、再来して検査結果を受け取る必要がありますが、そこには院内感染や移動に伴う感染リスクがありました。そのため、受診された方が安全・安心かつスムーズに検査結果を受け取れるよう検査結果を電子化することになりました。ただPDFでは、偽造や改ざんが容易にできてしまうので、真正性を担保するため行政でも電子署名を入れる動きになっています。そこで、PCR検査結果においても同様に電子署名を入れる仕組みを構築しておく必要があるという判断に至りました。



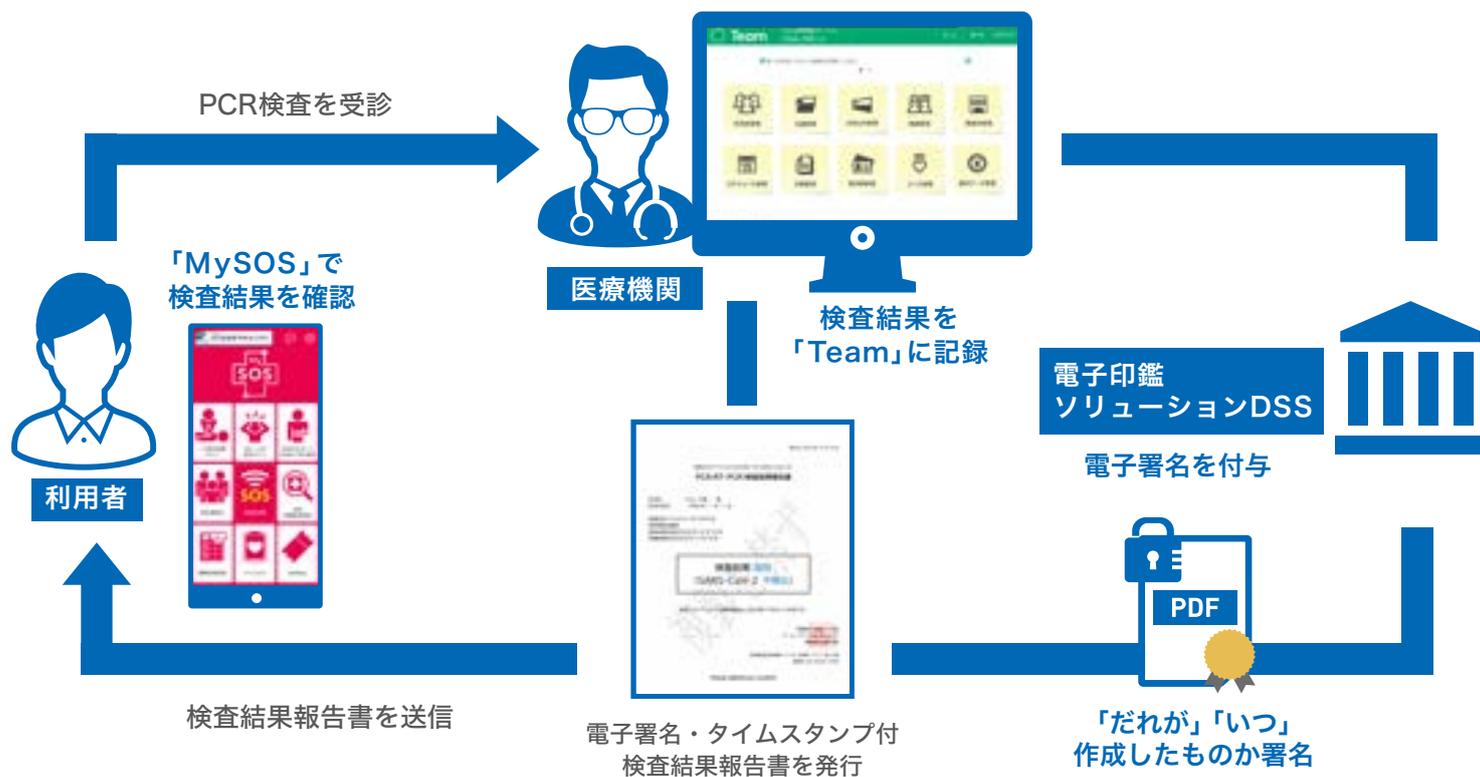
### ー 電子署名の方法は、他にも検討されていませんか？

**ご担当者様** 最初は自前で電子署名の仕組みを構築しようとしたのですが、調べていくと中間認証局を立てる必要があり、またAdobe Acrobatへの登記など申請にも時間がかかることが懸念されました。そのため、プライベートで構築するよりも第三者認証機関が提供している電子署名を利用した方が、信頼性も高く、開発スピードも上げられるため、既存のシステムとAPI連携して電子署名を付与する方法に変更しました。そこでグロー

バルサインさんのプレスリリースを見つけて、簡単に電子署名の仕組みをAPI連携できると知り、問い合わせたのがきっかけです。

## — 実際、弊社サービスとどのように連携されたのですか？

**ご担当者様** 流れとしては、医療機関側で多職種連携ソリューション「Team」を使い、問診やPCR検査結果を記録することで、受診者向けのアプリ「MySOS」にPCR検査結果報告書が送られるようになっています。そこで「Team」と電子印鑑ソリューションDSSをAPI連携し、PCR検査結果が入力されると「Team」のクラウドシステム上にあるPCR検査結果報告書にタイムスタンプ付き電子署名が付与される仕組みを構築しました。



電子署名は、受診者の方に真正性の担保された検査報告書を出す目的以外にも、航空会社や海外の交通機関、公的機関でも利用することができます。現在、日本への入国にあたり、出国前72時間以内に実施したPCR検査による「陰性」の検査証明の提出が求められる等の要件がありますが、タイムスタンプが付与されているので、いつ作成された検査結果報告書かを確認する事にも役立てられます。

## — 弊社サービスに対するご意見やご感想、今後のご予定はございますか？

**ご担当者様** PCR検査報告書は一日に1,000件以上と大量に発行することもあり、その際、電子署名の速度が追い付かずエラーが発生してしまいましたが、改善のためのサンプルコードをいただきコーディングはスムーズに進めることができました。

今後は、抗体検査結果報告書やワクチンパスポートにも応用を予定しています。

 **GlobalSign** by **GMO** **GMOグローバルサイン株式会社**

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-2-3 渋谷クラス  
TEL: 03-4545-1800 (受付時間: 平日10:00~18:00)

グローバルサイン

検索

<https://jp.globalsign.com/>